



平成 25 年 10 月 31 日

各 位

会社名 富士興産株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 金丸 勇一  
 (コード番号 5009 東証一部)  
 問合せ先 取締役経理部長 松崎 博文  
 (TEL. 03-3861-4601)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 14 日に公表した平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の業績予想値と、本日公表の第 2 四半期累計期間の実績値において下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,000	140	180	140	16.02
実績値 (B)	41,407	190	256	188	21.60
増減額 (B-A)	△3,592	50	76	48	
増減率 (%)	△8.0	35.9	42.3	34.8	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	37,291	161	213	200	22.98

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,000	100	200	150	17.16
実績値 (B)	40,372	71	209	177	20.31
増減額 (B-A)	△3,627	△28	9	27	
増減率 (%)	△8.2	△28.6	5.0	18.3	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	36,388	115	232	211	24.18

## 2. 差異の理由

当第2四半期累計期間におきましては、石油事業は、原油価格の高騰などの影響により増加した仕入コストの製品販売価格への転嫁に苦戦し、販売数量は計画に対して未達となり、損益面でも厳しい状況が続きました。その反面、子会社が営むホームエネルギー事業とレンタル事業は大幅増益となり、石油事業の減益分を上回る収益を挙げることができました。

この結果、連結業績では、石油事業における販売数量未達などの影響により、売上高は計画を下回りましたが、損益面では、子会社の増益や販売費及び一般管理費の削減が進んだことなどから、計画を上回る利益を挙げることができました。

また、個別業績につきましては、石油事業の販売数量未達などの影響から売上高が減少し、損益面でも営業利益が計画を下回ることとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、当社グループの事業は季節的変動が大きく、売上高・利益ともに第1・2四半期の占める割合が低いことから、前回公表値から修正は行なっておりません。

以 上